【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成24年10月11日(2012.10.11)

【公開番号】特開2011-135592(P2011-135592A)
【公開日】平成23年7月7日(2011.7.7)
【年通号数】公開・登録公報2011-027
【出願番号】特願2011-14923(P2011-14923)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｍ　1/00　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/13　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/1333　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　51/50　(2006.01)
Ｈ０４Ｍ　1/02　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/36　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/30　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　9/00　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　9/40　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　9/30　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　27/32　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｍ　1/00　Ｒ
Ｇ０２Ｆ　1/13　５０５
Ｇ０２Ｆ　1/1333
Ｈ０５Ｂ　33/14　Ａ
Ｈ０４Ｍ　1/02　Ａ
Ｇ０９Ｇ　3/36
Ｇ０９Ｇ　3/30　Ｈ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６８０Ｓ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６９１Ｄ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６８０Ｄ
Ｇ０９Ｆ　9/00　３６６Ａ
Ｇ０９Ｆ　9/00　３１２
Ｇ０９Ｆ　9/40　３０２
Ｇ０９Ｆ　9/30　３６５Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成24年8月23日(2012.8.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
タッチパネルで操作することができる機能を有する電子機器であって、
通信手段とＥＬ表示装置とを有し、
前記ＥＬ表示装置は、第１乃至第３のボタンを表示することができる機能を有し、
前記第１のボタンは、電話通信を制御することができる機能を有し、

前記第２のボタンは、電子メール通信を制御することができる機能を有し、
前記第３のボタンは、インターネット通信を制御することができる機能を有し、
前記タッチパネルによって前記表示部の前記第１乃至第３のボタンの選択が認識され、
前記通信手段によって通信を行うことができる機能を有することを特徴とする電子機器。

【請求項２】
タッチパネルで操作することができる機能を有する電子機器であって、
通信手段とＥＬ表示装置とを有し、
前記ＥＬ表示装置は、第１乃至第３のボタンを表示することができる機能を有し、
前記第１のボタンは、電話通信を制御することができる機能を有し、
前記第２のボタンは、電子メール通信を制御することができる機能を有し、
前記第３のボタンは、インターネット通信を制御することができる機能を有し、
前記タッチパネルによって前記ＥＬ表示装置の前記第１乃至第３のボタンの選択が認識され、
前記第２のボタンまたは前記第３のボタンが押された後、前記ＥＬ表示装置の表示が変わり、第４のボタンを表示することができる機能を有することを特徴とする電子機器。

【請求項３】
請求項２において、
前記第４のボタンを用いて、電子メールのアドレスが入力され、
前記通信手段によって、前記アドレスへ前記電子メールを送信することができる機能を有することを特徴とする電子機器。

【請求項４】
請求項２において、
前記第４のボタンを用いて、ホームページのＵＲＬが入力され、
前記通信手段によって、前記ホームページをダウンロードすることができる機能を有することを特徴とする電子機器。

【請求項５】
請求項２乃至請求項４のいずれか一項において、
前記第４のボタンは、英語の大文字、英語の小文字または数字を入力することができる機能を有することを特徴とする電子機器。

【請求項６】
請求項２乃至請求項５のいずれか一項において、
前記第４のボタンは、日本語を入力することができる機能を有することを特徴とする電子機器。

【請求項７】
請求項１乃至請求項６のいずれか一項において、
前記電子機器は第１乃至第３の表示装置を有し、
前記第１の表示装置と前記第３の表示装置の接続部に折りたためるようにヒンジが設けられ、
前記第２の表示装置は、前記第１の表示装置と前記第３の表示装置に挟まれ、
前記第１または前記第２の表示装置のいずれか一は前記ＥＬ表示装置であり、前記第３の表示装置は反射型液晶表示装置であることを特徴とする電子機器。